

# 平成22年度施政方針（抜粋）政策の基本方針

平成22年度は、市民の皆様  
に約束させていただいたマニ  
フェストを着実に実行するた  
め、職員一丸となって取り組み、  
市民の目線で、市民のための効  
率的かつ効果的な行財政運営に  
努めます。

「明日を創る8つの約束」を  
掲げ、多彩な経済活動を産み支  
え、子どもたちの夢が叶う、高  
齢者の笑顔が溢れる仙北市をつ  
くるべく、全力で取り組んでい  
きます。

自治経営は主権者である市民  
の皆様を信じることから始  
まるという信念のもと、大きく  
次の三つの事項に取り組んでい  
きます。

第1には、医療・福祉・防災  
の強化、行財政改革の断行に  
よって「市民の生活を守る」こ  
と、特に最優先で医療再生に向  
けた環境づくりを進めます。

また、人口減少や少子高齢化  
が進展し、地域主権や道州制の

議論が進む中で、仙北市が今後  
も持続的な発展をとげる仕組み  
づくりが重要な課題であるとい  
う認識から、市民と行政の距離  
感を縮め、地域運営を地域に暮  
らす市民の皆さんに担っていた  
べく地域運営体の設置を促進し  
ます。

第2には、産業育成・雇用拡  
大による「所得の向上を図る」  
こと、食品産業群の育成、マー  
ケットの開拓、これらをプロ  
デュースする総合産業研究所を  
開設し、第1次産業の未利用の  
地域資源を掘り起こし、生産・  
加工・流通・販売の各ステー  
ジで徹底支援するとともに、豊  
かな自然資源を活用した新エネ  
ルギー・新素材産業の可能性も  
強気に探りながら、農業ビジネ  
スなど他産業への参入を積極的  
に進めます。

また、観光産業では角館と田  
沢湖を統一ブランドとして育  
て、国内は勿論、アジア地域な  
ども商圏ターゲットに取り組ん  
でいきます。特に、角館、  
田沢湖畔、乳頭・田沢湖高  
原・玉川・水沢等の温泉群  
は、観光産業拠点特別区と  
して再整備を図る準備を進  
めます。

第3は、子育て環境の整  
備、教育の充実、スポーツ  
と文化振興による「次世代  
の人材育成」です。安心して  
子どもを産み、育てること  
のできる環境づくりを多  
面で持ち上げ、次世代を切  
り開く市民の育成に向け、  
知識や理念、理想を共有し  
て、問題を解決していくた  
めに、お互いが協力をして

いく問題解決型の教育システム  
を構築します。

財政改革について、「最小の  
経費で最大の効果を挙げる」重  
要な視点は、歳出の抑制と並行  
して収入の確保策をいかに講じ  
るかという点です。歳出抑制に  
は限界がありますが、歳入確保  
策は知恵しだいで無限の可能性  
を感じます。

具体的には、産業振興による  
市民の担税力の向上、地域経済  
に波及効果の高い住宅着工を促  
進する独自支援策、魅力ある温  
泉づくりを通じた入湯税の増収  
策、また未利用施設など市有財  
産の売却などにより、収入確保  
を図っていきます。

これまで幾多の困難を乗り越  
えてきた私たちの地域には、多  
様性に富んだ風土と自主自立の  
精神に基づく「結いの力」が今  
も脈々と受け継がれています。  
これを基本に、将来を切り開く  
新たな合意づくりに取り組みたい  
と考えています。

また、常に改革の意識を持ち  
ながら、市民参加による市民の  
ための市政を目指し、職員と力  
を合わせ、仙北市のさらなる発  
展に努めます。市民の皆様のご  
理解とご協力をお願いします。

